

一般社団法人 協力隊を育てる会 御中

小さなハートプロジェクト報告書

本報告書や写真等は原則として公開するものとし、一般社団法人協力隊を育てる会が広報等に使用することに同意し、下記のとおり報告します。

2017年度 4次隊 職種 青少年活動 派遣国 ミャンマー 出身県 埼玉県

氏名 清水 啓 (しみず けい)

1. プロジェクト名 子どもたちに安全な水を		
2. プロジェクト概要		
期 間	実 施 内 容	主たる担当
2019年5月	新しい浄水器の設置について校長より相談を受ける	ウーネアウンジョー (配属先校長) 清水啓
6月13日	A 浄水器業者へ説明と金額の見積もり	ドティンティンサン (配属先カウンター パートナー) 清水啓
14日	マハーエヤ社へ浄水器の説明と金額の見積もり	ウーネアウンジョー 清水啓
16日	マハーエヤ社に対しての質疑応答	カウンターパートナー 清水啓
7月24日	小さなハートプロジェクトへの申請	清水啓
9月11日	小さなハートプロジェクトより支援金の振り込み	清水啓
9月25日	業者と工事計画と支払い計画の相談	ウーネアウンジョー 清水啓
10月3日	1回目支払い MMK100万(71,942円)	ウーネアウンジョー (業者) 清水啓
10月10日	基礎工事開始(土台、水道管、モーターの設置)	業者 子ども
10月16日	2回目支払い MMK120万(86,330円)	ウーネアウンジョー 清水啓
10月18日	基礎工事終了し、浄水器の小屋の設営開始 (屋根、フェンスなど)	業者 子ども
10月19日	3回目支払い MMK50万(35,972円)	ウーネアウンジョー 清水啓
10月22日	浄水器小屋の設営終了、浄水器の設営	業者 子ども
10月25日	工事終了、浄水器の使用開始	

3. プロジェクト進捗詳細

進捗状況①

●子どもの下痢をなくしたい～きれいな水を確保しよう～

子どもを取り巻く水の状況について、まず調査を行った。飲料水は古い浄水器を使用していたものの、500リットルほどしかなく、全員分は給与できていない。また、浄水器内で浄化することも

追い付かず、ほとんどが近くのお堀から汲んだ水を飲んでいる状況であった。調理のために用いる水についても同じような状況であり、子どもを取り巻く環境は決して衛生的とはいえない状況であった。また人数や燃料の状況からしても煮沸をしていることは現実的とは言えず、浄水器を設置する必要があるとの結論に達した。

業者の説明を聞き、同じ省内の他の学校を訪問するなどして、浄水器の状況や効果的な設置利用について、学校や業者と相談を行った。その際、食事の皿洗いなどのために、建設した予備の水瓶の近くに設置することで、モーターを少し小さなものとするなど工夫を行い、価格を少し抑えることができた。また、セメントを混ぜる作業や溶接作業を手伝うやる気のある職員から、評価の高い子ども、もしくは経験のある子どもが中心となり、土台建設と浄水器小屋の設営などに加わるようになった。

写真はその際の建設前の予定地である。



進捗状況②

●建設に取り掛かる～子どもの協力が必要だ～

まず、縦60cm、横120cm、高さ3m45cmの土台を建設することから始めた。業者が中心となるが、セメントをこねる作業や運搬など簡単な作業は子どもが手伝うことになった。この土台の建設は1～2週間を要すると私は予想していたが、なんとわずか3日ほどで、土台がつけられた。その理由は、日本よりも建設現場での労働者の数が多いためと思われる。その土台の中に近くにある水槽（約1800リットル）から地下を通して水道管を通す作業をした。

現在、私の配属先では建物の建て替え中のため、余地となる場所が非常に少なく、セメントをこねる場所は25mくらい離れた場所で行うことになった。そのため、各所からセメント、砂と石を運搬することには苦労した。私自身が直接指揮を執ることはなかったものの、セメントのこね方やセメントの塗り方などは、私の活動の中で100人近くの子どもの間に教えたことがあり、その子どもや外部での経験のあった子ども4人ほどが中心となって「チャウツ（石）、テー（砂）、ピラミー（セメント）ヨーマー（混ぜて）」「イングレイ（こねたセメント）ユーマー（運んで）」といった言葉が飛び交っていた。



進捗状況③

●浄水器小屋の設置～溶接経験のある子どもを中心に～

土台を仕上げた後、いよいよ、浄水器を設置する浄水器小屋を建設することになった。小屋の大きさは縦横3mと高さ3m45cmほどであり、そこに屋根をかぶせて、壁はフェンスを建設することで仕上げることになった。この小屋の建設には、1週間ほどを要した。材料を運ぶ作業は、引き続きセメントの手伝いをしていた子どもが行い、溶接作業は外での経験のある子ども（過剰収容中のため、溶接実習は一年ほど行っていない。）を中心に行われることになった。

ミャンマーでの溶接作業は日本に比べると精細さに欠く部分もあるが、手際よく行われており、今回のような軽量の施設の建設には向いていると思われた。当地では低水素系の溶接棒を用いることが多く、私自身は下向き溶接ならばできるものの、縦向きでは低水素系の溶接棒を用いての溶接は技術的にできない。しかし、難なくアークを発生させて短めのビードをこまめに引いていく作業の迅速さには、驚きを隠せなかった。得意げに溶接をしている子どもの様子を見ていると、こうした何かを作る作業が子どもの自己肯定感の向上につながっていると思われる。



4. プロジェクト成果

浄水器が完成したことで、子どもたちの健康状態の向上に一役買うことができた。前述のようにそれまでの近くの王宮からお堀の水を直接汲んで、煮沸もせず飲料していた状況であったが、子どもの飲料水の状態が変化することで、子どもの生活環境が少し良くなった。人数が多いため、飲み水のみ浄水器の水を使用することができるが、食事に用いられる水については未だに古い浄水器の水を使用している。しかし、それに加え、子どもの数の増加には歯止めがきかず、500名にまで膨れ上がっ

ていた。ミャンマーの国会でも、私の配属先のような訓練学校の増設が検討され、そうした影響から、マンダレー市から、私たちのプロジェクトの後に、浄水器をもう一基建設する運びとなった。このプロジェクトで浄水器をせっかく作っても、全員に行き渡らないのでは効果的とはいえないという配属先の校長やミャンマー政府側の判断があったようである。このように子どもの健康状態の改善とミャンマー政府を少し動かすことができたのは、このプロジェクトの大きな成果であったと言える。



配属先であるマンダレー少年訓練学校の校長より感謝状



5. 感想・苦勞した点・今後の課題等

浄水器が新たに建設されたことで、このように子どもの健康状態の向上につながるようになった。

浄水器の設置の8割は専門的な作業が多く、浄水器業者が中心となっていて行われたが、簡単な部分については子どもたちも協力して行った。その結果、私の予想では基礎工事だけでも1か月はかかるかと思われていた作業はわずか10日ほどで終了することになった。作業に携わる人数の多さと労働時間や休暇などが厳格でないことから、場合によっては日本よりも労働時間が長いこともある。そうしたことから、ミャンマー社会の発展という将来性を感じた。

子どもの数の増加の理由は、2019年7月の法律の改正であり、それに伴い子どもの収容者数が300名程度だったものが、わずか3か月で500名にまで膨れ上がった。元々、マンダレー少年訓練学校は孤児を中心とした施設であり、定員200名に対して、職員はわずか24名と非常に少なく、職員のほとんどがもう半年近くも満足な休暇も取れずに働いている。現在の問題点として、配属先がミャンマー政府に提出している施設の報告書には、以下の4点を記している。

- (1) マンダレー少年訓練学校の在籍人数は、20名の職員と200名の子どもとなっているが、現在の子どもの数は510名であり、職員と建物が十分ではない。
- (2) 子どもを守るための責任者である医者と看護師が配置されていない。子どもの健康については問題だらけである。
- (3) 子どもが増えたため、飲用水とトイレが十分でない。
- (4) 施設の下水の状態が悪く、下水の流れが悪い。水がよどんでる。

今回のプロジェクトにより、(3)の問題は、300人分を賄う事のできる浄水器を設置したことで、半分解決した。さらに国の特別予算を得ることになり、もう一基設置することになったことで、この問題が解決することになった。

実際に建設されて、子どもが休憩するために浄水器の水を飲んでいる姿を見ると、この問題の解決のために貢献できてよかったと思う。





6. プロジェクト精算

収入

	項目	金額 (現地通貨)	金額 (日本円)
1	小さなハートプロジェクトによる支援金	MMK 2,700,000-	¥ 194,425-
2	被支援者負担額	MMK 527,500-	¥ 37,950-
収入合計		MMK 3,227,500-	¥ 232,194-

支出

	項目	金額 (現地通貨)	金額 (日本円)
1	貯蔵タンクの設置	MMK 200,000-	¥ 14,200-
2	水道管の埋設工事	MMK 700,000-	¥ 49,700-
3	浄水タンクの簡易小屋の建設	MMK 650,000-	¥ 46,150-
4	400パワーのモーター	MMK 850,000-	¥ 53,250-
5	ポンプ	MMK 79,000-	¥ 5,609-
6	1000リットルの水槽	MMK 300,000-	¥ 21,300-
7	その他 (パイプ、設備)	MMK 15,500-	¥ 1,100-
8	業者工賃	MMK 300,000-	¥ 21,587-
9	セメント、水道管などの追加資材	MMK 133,000-	¥ 9,569-
10	現地事務費 (報告書作成・写真・現像費等)		¥
支出合計		MMK 3,227,500-	¥ 232,194-

換算の基礎となったレート (現地通貨とUS\$または円) @ MMK 13.9 = ¥ 1

全国電力関連産業労働組合総連合 様

初めまして、私は2017年度4次隊で派遣されている清水啓（しみずけい）という者です。青少年活動の職種でミャンマー連邦共和国のマンダレー少年訓練学校に派遣されております。私の配属先は日本で言うところの少年院と児童相談所、孤児院などを合わせたような施設であり、現在、収容定員200名の施設に520名が収容されている状況です。そして恐ろしいのは、そこに職員は22名しかおりません。私はそこで教育活動をするのが目的でしたが、配属先の当面の課題は「飲み水の確保」、「栄養状態の整った食事」、「衛生状態の改善」、「医療の充実（病院に慢性的に子どもが入院している状況です。）」となっています。その中でも「飲み水の確保」は基本中の基本で、火を使っ
ての浄水なども500人分の水を賄うことはできず、浄水器がなければ、とても間に合うような状況ではなく、近くの川の水を水瓶に入れて用いるという方法しかありませんでした。

それを今回の小さなハートプロジェクトにより、寄付を頂き、その問題が改善されたことで私たち職員と子ども一同喜んでおります。1000リットルの浄水器では1日3

〇〇人ほどしか賄うことができませんが、このプロジェクトにより、半分の子どもの飲み水が確保されました。そして、浄水器を一基建設したことで、ミャンマー政府を動かすことができ、もう一基作る計画を策定することができました。この小さなハートプロジェクトがきっかけで、ミャンマー政府や社会に少しでも変化をもたらせたことを、私も全国電力関連産業労働組合総連合様に対して、大変ありがとうございます。

私自身は、日本の少年院で働いており、そこの子どもに対して職業訓練として溶接を教える部署にいました。アーク溶接は電気をを用いるので、低圧電気取扱者の資格を取得したりしております。電気の仕事については座学でしか知らないものの、事故や災害が起きると、非常に深刻な損害を受けるものであると学びました。また、2020年の4月に私は帰国予定ですが、それまでにお時間が許すようであれば、一度、当施設にお越しいただけたらと思います。

2017年度4次隊 青少年活動 ミャンマー派遣

清水 啓 （法務教官 休職中）

ကြီးလစိုစ ၂၀၁၀
ဗီစီ-၀၀-၀ ၂၆၆၆

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊
ပိုင်ဆိုင်မှု (ဝှိဟာရပြည်နယ်)

၁/၁၀/၂၀၁၀

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

Saitama Association for International Youth Volunteer

Industry Worker's Union of Japan နှင့်

Japan နှင့် The Federation of Electric Power Related

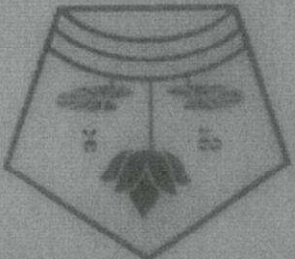
အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်



အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်

အိန္ဒိယနိုင်ငံ၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်၊ ဝှိဟာရပြည်နယ်



ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံတော်

(ミャンマー連邦共和国)

လူမှုဝန်ထမ်း၊ ကယ်ဆယ်ရေးနှင့် ပြန်လည်နေရာချထားရေးဝန်ကြီးဌာန

(社会福祉救復興省)

လူမှုဝန်ထမ်းဦးစီးဌာန

(社会福祉省)

မန္တလေးလူငယ်သင်တန်းကျောင်း

(マンダレー少年訓練学校)

ဂုဏ်ပြုမှတ်တမ်းလွှာ

(感謝状)

လူမှုဝန်ထမ်းဝန်ကြီးဌာန၊ မန္တလေးလူငယ်သင်တန်းကျောင်းရှိ

(社会福祉省 マンダレー少年訓練学校にいる)

ကျောင်းသားလေးများ သောက်ရေသန့် သောက်သုံးနိုင်ရေးအတွက်

(学生に 浄化した水 飲み水として使えるため)

စေတနာထက်သန်စွာဖြင့် ရေသန့်စက်တပ်ဆင် လှူဒါန်းပေးပါသော

(善意の心で 浄水器の取り付けを 寄付してくれる)

Japanနိုင်ငံရှိ The Federation of Electric Power Related

(日本国にある)

Industry Worker's Union of Japan နှင့်

(全国電力関連産業労働組合総連合と)

Saitama Association for International Youth Activity

(埼玉国際青年を育てる会)

တို့အား ဤမှတ်တမ်းလွှာ ဖြင့် ကျေးဇူးတင် ဂုဏ်ပြုအပ်ပါသည်။

(たちに この記録書で 感謝と誇りを表したいと思います。)

ရက်စွဲ ၁ - ၁၁ ၂၀၁၉

(日付 1. 11. 2019)

နေရာ မန္တလေးမြို့

(場所 マンダレー市)

နေအောင်ကျော်

(ネーアウンジョー (名前))

ကျောင်းအုပ်

(校長)

လူငယ်သင်တန်းကျောင်း၊ မန္တလေးမြို့

(少年訓練学校 マンダレー市)

朝5時から拡声器で象と人生について話を聞く日々

RSS



清水 啓

埼玉県

タイプ/職種

青年海外協力隊
青少年活動

派遣国

アジア
ミャンマー マンダレー管区
マンダレー市

一言メッセージ

マンダレー少年訓練学校で活動しています。日本の少年院で働いた経験と視点から比較して、観察していきます。

浄水器の設置

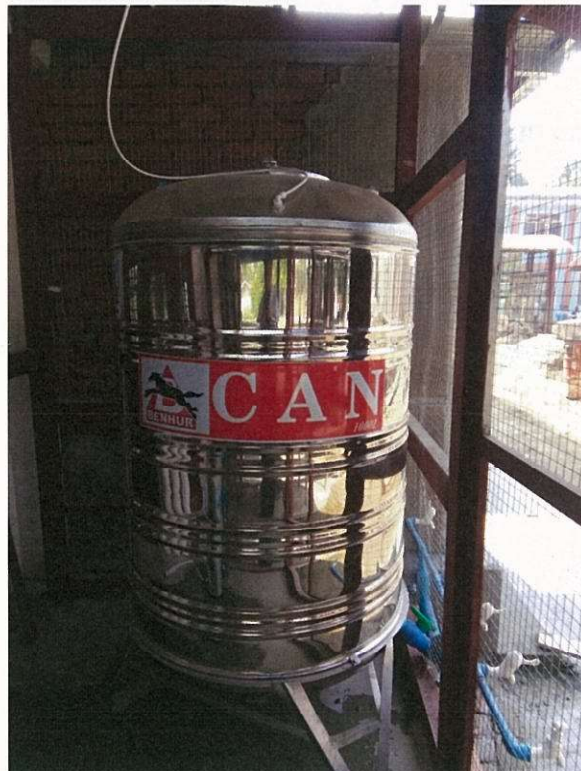
2019.12.19



私の配属先はマンダレー少年訓練学校というミャンマーにおける言わば少年院のような存在です。

そこに定員200名（日本の1人2畳の計算だと定員は100名程度）のところに520名の18歳までの子どもが収容されています。職員はわずか20名ほどで対応しており、教育活動を充実させることが困難な状況にあります。

そこで、私は教育活動を充実させることを中心に行っています。



私は今回、配属先の校長から依頼を受けて、浄水器を新しく設置することになりました。

それまで、子どもたちが飲んでいた飲み水は地下水と、なんと近くの王宮の水。

カレンダー

<< 2019年12月						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

カテゴリ

活動(4)

最新の記事

浄水器の設置
気合と覚悟のいる体育
知識伝達型授業
法律改正

アーカイブ

2019年12月
2019年09月
2019年08月
2019年07月
2019年06月
2019年05月
2019年03月
2019年02月
2019年01月
2018年12月
2018年11月
2018年10月
2018年09月
2018年08月
2018年07月

同じ職種のBlogを見る

人的資源

そのため、小さなハートプロジェクトを申請することにより、浄水器を新たに設置できるようお願いいたしました。

申請を行い、全国電力関連産業労働組合総連合様と私の地元である埼玉県の協力隊を育てる会様に支援を頂くことになりました。



それにより、なんとか浄水器ができたものの、子どもの数がそれまでの350人から、520人にまで膨れ上がったため、1000リットル規模の浄水器を設置しても十分ではない状況になりました。

しかし、ミャンマー政府が国会でも問題にしているように少年訓練学校の過剰収容により、予算などを積極的に優先させるようになったことで、マンダレー市から新たに浄水器をもう一基立てることになりました。

これで、おなかを壊したり、病気になる子どもの数が減ればよいなど切に願っています。

最後の写真は配属先からのお礼状です。

いいね!

ツイート

👍 チェック